

■ラルクシールド

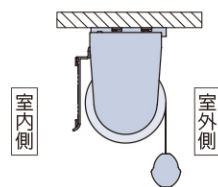
取付けの種類

■天井付け

窓枠内にすっきりと納めたいときにおすすめです。

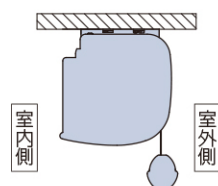


シールドあり



意匠性に優れ、直射光を遮る「シールド」が付いています。

シールドあり (サイドカバー付きを選択した場合)



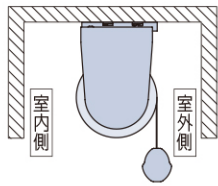
- ・天井面に取付ける時は、カーテンボックスのような納まりになり、見た目がすっきり。
- ・下から見上げた時の意匠もスマートです。
- ・連窓時はシールド間のすき間もなく、きれいに納まります。

■天井付け (カーテンボックス付け)

カーテンボックス内への取付けは、生地巻取り部が隠れるのですっきりと納まります。

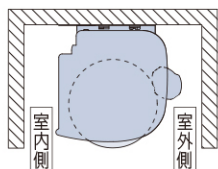


シールドなし



カーテンボックス内への取付けは、生地巻取り部が隠れるので、納まりがすっきり。

シールドあり (サイドカバー付きを選択した場合)



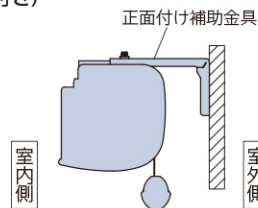
- ・下から見上げた時の意匠もスマートです。
- ・連窓時はシールド間のすき間もなく、きれいに納まります。

■正面付け

窓枠を覆うように取付けます。
製品と窓枠のすき間からの光漏れを少なくしたいときにおすすめです。

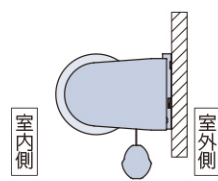


シールドあり (サイドカバー付き)



- ・「シールド」や「サイドカバー」があることで、直射光を遮り、生地にはこりがたまりにくい構造です。
- ・連窓時はシールド間のすき間もなく、きれいに納まります。
- ・天井近くに取付ける時は、カーテンボックスのような納まりになり、見た目がすっきり。

シールドなし (正面付け補助金具なし)



シールドなしで取付けることもできます。

POINT

連窓時にきれいに納まる「サイドカバー付き」

製品を並べて取付ける場合は、「サイドカバー付き」にするとシールド間のすき間が開かず、きれいに納まります。

※正面付けの場合は、サイドカバーが付きません。
天井付けの場合は、「サイドカバー付き」とご指定ください。
どちらの場合も製品の仕上り幅は同一です。

サイドカバー付き



サイドカバーなし

